

院内がん登録全国収集データの二次利用における拒否(オプトアウト)について

◆ 院内がん登録とは

がんと診断された患者さんの基礎的なデータを病院として集積し、がん診療の実態を明らかにするしくみです。「がん登録等の推進に関する法律」では、がん診療に重要な役割を担う施設での努力義務とされています。

院内がん登録は法律に基づき各施設において実施され、毎年、国立がん研究センターに氏名などの個人識別情報を削除した上で提出、全国の病院における診療件数などの集計が報告書として公表されています。

◆ 院内がん登録で期待される内容

1. 病院ごとの特徴や課題が明らかになり医療の質向上や研究の資料になる
2. 国や地方公共団体ががん対策を計画・実施する際の根拠となる
3. 集計を使って受診先選択の参考とすることができる

◆ 二次利用について

国立がん研究センターに提出された院内がん登録データは、報告書を作成するだけでなく二次利用として、

- ① データのより詳細な集計や研究解析を行って実態を検討する。
- ② アンケート調査(全国規模で対象を選び、病院からアンケートを送付)

これらの二次利用は定められた審査を経て行われるものですが、もし自分に関する情報が二次利用に使われたくない場合は、当院の窓口へお申し出ください。

なお上記は全般の情報ですが、個別の研究については、各研究者の所属機関における倫理審査委員会の指示に従い情報公開等を行います。

【当院窓口】市立福知山市民病院 診療情報管理室

連絡先:0773-22-2101【代表】(平日8時30分~17時15分)

- 院内がん登録についてお知りになりたい方は、以下のURLあるいは右記の2次元バーコードを使って「がん情報サービス」をご覧ください。

<https://ganjoho.jp/public/institution/registry/hospital/>



- がん情報サービス お問い合わせフォーム

<https://contact.ganjoho.jp/form/pub/ganjoho/contact>